

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（市町総括表）

【単独事業】

市町名	壬生町
-----	-----

(単位:円)

No.	単独事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	第18回全国藩校サ ミット壬生大会	総事業費	13,826,235	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	25,826,235
		うち市町支出額	5,801,845	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	17,801,845
		うち県交付金	2,900,922	0	0	0	0	2,900,922
2	みぶブランド認定事 業者促進事業	総事業費	1,000,001	1,000,100	1,000,100	1,000,100	1,000,100	5,000,401
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,000,000
		うち県交付金	500,000	500,000	500,000	0	0	1,500,000
3	壬生お殿様料理促進 事業	総事業費	533,921	501,000	501,000	501,000	501,000	2,537,921
		うち市町支出額	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	2,500,000
		うち県交付金	250,000	250,000	250,000	0	0	750,000
4	みぶの日開催事業	総事業費	0	600,000	600,000	600,000	600,000	2,400,000
		うち市町支出額	0	600,000	600,000	600,000	600,000	2,400,000
		うち県交付金	0	300,000	300,000	0	0	600,000
5	国際観光推進事業	総事業費	751,180	751,000	751,000	501,000	501,000	3,255,180
		うち市町支出額	750,000	750,000	750,000	500,000	500,000	3,250,000
		うち県交付金	375,000	375,000	375,000	0	0	1,125,000
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	16,111,337	5,852,100	5,852,100	5,602,100	5,602,100	39,019,737
		うち市町支出額	8,051,845	5,850,000	5,850,000	5,600,000	5,600,000	30,951,845
		うち県交付金	4,025,922	1,425,000	1,425,000	0	0	6,875,922

栃木県わがまちつながり構築事業計画（実績）書（単位事業調査書）

【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	第18回全国藩校サミット壬生大会
事業主体の名称	第18回全国藩校サミット実行委員会
代表者の名称	会長 田村幸一
事業主体の所在	321-0225 栃木県下都賀郡壬生町本丸1-8-33（壬生町立歴史民俗資料館内）
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的：郷土の偉人を知ることにより、郷土文化の再認識と高揚を図る。 ・設立年月日：平成31年5月18日 ・構成員等：教育長、壬生論語作成実行委員会、第18回全国藩校サミット実行委員会他
当該事業に係る地域の現状と課題	壬生町立歴史民俗資料館では、平成4年度から、町内小学校との連携により「郷土の偉人顕彰作業」を実施している。その作業の中で、“論語のまち・壬生”そして、“学問の府・壬生”を見だし、“街づくり”の一環として情報を発信している。この発信された歴史から、平成25年度に刊行した『壬生論語古義抄』を副読本として、町内小学校は“論語”を語る素読を導入した。また、同年には町民を対象とした「壬生論語古義塾」を開講し、歴史に基づく確かな第一歩を踏み出している。しかしながら、近年発見された歴史を広く浸透させることは難しく、壬生藩学、ひいては壬生という地域の特色を多くの町民に発信し続ける必要がある。
事業目的	“論語のまち・壬生”としての取り組みや文化事業の発表、町内の観光を通して、文化的・歴史的な壬生町の魅力を全国の参加者に発信する。大会終了後、全国の参加者が各自治体で壬生町の魅力を伝えることで、今後の壬生町の関係人口の創出を図る。
事業概要	<p>毎年の展示で取り上げた人物の多くは、江戸期に設立された藩学<学習館>の卒業生で、全国に発信できる業績を持つ。令和3年度「郷土の偉人顕彰作業」事業の一環として、令和3年11月20日（土）・21日（日）に第18回全国藩校サミット壬生大会を開催した。本事業の藩校サミットは、藩校の学びを取り入れた事業を行う自治体が集まり、その取り組みを披露する場であるとともに、当時の大名家の子孫が集まる稀有な会議となった。壬生町は県内で最古級の設立となる藩校「学習館」の歴史を踏まえ、壬生独自の「論語古義」や、学校教育における論語の取り組みについて紹介した。壬生町の歴史や魅力を全国に広めるとともに、町民が地域の魅力を再確認できる機会となった。</p> <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 壬生論語青少年・町民の主張コンクール（8月7日（土）会場：城址公園ホール） 2. プレイベント（10月31日（日）会場：城址公園ホール） <ol style="list-style-type: none"> ①鉄砲隊演武 ②藩校調べ学習プレゼンテーション上映・表彰 ③鳥居家16代御当主のトークショー ④町内小学校児童による論語の朗読及び合奏 3. 藩校サミット（11月20日（土）・21日（日）会場：城址公園ホール） <ol style="list-style-type: none"> ①藩主・藩校会議 ②講演会・記念鼎談 ③こども文化活動発表（円仁太鼓・作文発表・町内児童生徒による論語大朗読） ④エクスカージョン
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>壬生町創生総合戦略 2. 壬生町への新しい人の流れをつくる</p> <p>【数値目標】観光客入込数3,709,996人(H30) → 5%増加 (R7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ホームページアクセス数 146,947件/月 ○みぶハイウェーパーク来訪者数 1,281,791人 ○町内の東武鉄道駅乗降客数 7,048人 <p>※上記は令和元年度のデータに基づく</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位：円)

	令和3年度	年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	1. 壬生論語青少年・町 民の主張コンクール 2. プレイベント 3. 藩校サミット				企画展「大名家の献立～ 文化2年壬生御献立帳 ～」
事業費	13,826,235			13,826,235	3,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	5,801,845			5,801,845	3,000,000
うち県交付金	2,900,922			2,900,922	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	8,024,390	0	0	8,024,390	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課生涯学習係	
担当者名	高橋由衣	
連絡先	電話	0282-81-1873
	FAX	0282-82-0935
	E-mail	gakusyu@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画（実績）書（単位事業収支予算（精算）書）

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	第18回全国藩校サミット壬生大会	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	5,801,845	壬生町（県交付金「わがまちつながり構築事業」込）
大会負担金	300,000	（一社）漢字文化振興協会
協賛金	7,320,000	企業・団体・個人
雑収入	404,390	サミット関係物販収入
計	13,826,235	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
使用料及び賃借料	204,000	100,000	50,000	104,000	会場借上げ料
委託料	1,445,380	1,160,000	580,000	285,380	会場内ビューイング料、駐車場管理費用、進行業務スタッフ、搬出作業スタッフ
工事請負費	1,500,400	0	0	1,500,400	記念碑工事費
備品購入費	1,645,380	580,000	290,000	1,065,380	会場設営備品代（垂れ幕、案内札、胸章、アレンジメントフラワー）
報償費	740,575	448,000	224,000	292,575	講師・出演者謝金
旅費	2,514,670	1,200,000	600,000	1,314,670	大型バス借上げ料、児童生徒送迎タクシー代、藩主宿泊費
広告費	1,193,060	400,000	200,000	793,060	開催チラシ（28円×12000枚）、新聞折込料（8.8円×12000枚）、幟旗作成
印刷製本費	1,590,000	1,332,800	666,400	257,200	大会記念誌（1000円×1200部）、大会報告書（360円×500部）、プレゼンDVD制作（1000円×45枚）
消耗品費	1,339,100	581,045	290,522	758,055	サミット記念バッジ（1160円×100個）、ネックストラップ（550円×100本）、Tシャツ（1300円×70枚）、封筒、コピー用紙、インクトナー代、ラベルシール、メモ帳代
食糧費	1,156,182	0	0	1,156,182	藩主会議昼食、お茶代、出演者飲食代
役務費	197,542	0	0	197,542	郵送料、振込手数料
イベント費	299,946	0	0	299,946	イベント関係消耗品、イベント出演者謝金、飲食代
計	13,826,235	5,801,845	2,900,922	8,024,390	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節（需用費、役務費は細節）の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業調書）

【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	みぶブランド認定事業者促進事業
事業主体の名称	みぶブランド認定事業者協議会
代表者の名称	戸崎 裕司
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的：みぶブランドの認知度向上を図る。 ・設立年月日：令和3年4月27日 ・構成員等：戸崎農園(株)、(有)天志古商店、就労支援むつみの森他17事業者
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業者の個別展開はあるものの、みぶブランドとしての統一的な対外PR、その他活用が不十分な状況である。 ・コロナウィルスの影響、後継者不足に伴い、苦境に立たされている事業者も少なくない。
事業目的	みぶブランドのPR等により、新たな販路開拓と壬生町の認知度向上を図るとともに、町内にあっては新たな壬力（魅力）の掘り起こしと、事業者による新たな事業展開や製造量増加につなげる。
事業概要	<p>本年度は、デザイン学校に依頼の上イメージを刷新したみぶブランドマークのもと、みぶブランドの紹介パンフレットをリニューアルして目新しさを提供しつつ、いちご一会とちぎ国体イベントや本町で開催される全国藩校サミットにおいて積極的にみぶブランドのPR活動を実施した。</p> <p>なお、本年度の新たな取組みとして、認定者同士のコラボ商品開発も計画している他、全国藩校サミットプレ大会・本大会、及び道の駅みぶ感謝祭等へ出店し、ブランドのPRも行った。</p> <p>来年度以降においては、本年度より開始される「お殿様土産」や「お姫様料理」とも連携した対外PR活動を充実させるとともに、取り扱い店舗の拡充や各店舗のみぶブランド売り場の充実等を具体的に展開し、また、ふるさと納税返礼品や通販におけるみぶブランド品の詰め合わせセットの提供等を図って参りたい。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> ・生産から開発、販売、PRを一体的に進める農業の6次産業化を推進し、壬生町ブランドの認知度向上を図ります。 ・KPI：地域ブランド品目認定数 現状31件（H30） → 目標40件（R7）

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R3年度	R4年度	R5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・のぼり旗、パンフレット等作成 ・イベント出店等 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット等作成 ・情報発信ライター事業 ・イベント出店 ・詰め合わせセット作成、広告等 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット等作成 ・情報発信ライター事業 ・イベント出店 ・通販等活用事業 		<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット等作成 ・情報発信ライター事業 ・イベント出店 ・通販等活用事業
事業費	1,000,001	1,000,100	1,000,100	3,000,201	1,000,100
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1	100	100	201	100

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課	
担当者名	武田	
連絡先	電話	0282-81-1844
	FAX	0282-82-1107
	E-mail	keizai@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	みぶブランド認定事業者促進事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	1,000,000	内、500千円は県補助金
雑入	1	預金利子
計	1,000,001	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
旅費	0	0	0	0	
消耗品費	703,001	703,000	351,500	1	のぼり旗作成費、ブランド認定シール作成費、パンフレット・集合写真撮影用商品購入費、歴食サミット参加経費等
印刷製本費	297,000	297,000	148,500	0	パンフレット作成費
委託料	0	0	0	0	
負担金	0	0	0	0	
				0	
計	1,000,001	1,000,000	500,000	1	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業調査）

【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生お殿様料理促進事業
事業主体の名称	壬生お殿様料理促進の会
代表者の名称	鈴木浩
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・お殿様料理：壬生藩鳥居家に伝わる御献立帳を基に、歴代藩主（お殿様）が食した献立を復刻、もしくは現代風にアレンジした料理 ・団体の目的：壬生藩鳥居家三万石のお殿様料理の認知度向上 ・設立年月日：令和3年4月22日 ・構成員等：日本料理旬香、割烹いしかわ、割烹山水亭他4店舗
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・お殿様料理について、一定の格式高さを確保しつつも、多くの人に、数多く味わっていただくための機会創出が不十分である。 ・町民における、料理自体、及びお殿様料理に繋がる壬生藩の歴史に関する認知度が不十分である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・お殿様料理等の販売により、壬生町の豊かな自然と医食同源の歴史を現代風にアレンジ等の上、町内外に壬生の歴史をPRすることで、観光客等の交流人口を増加させる。 ・様々な食材の活用、特徴的な容器の作成、及び広報宣伝活動等を通じて、町内事業者の連携及び町外事業者との取引等を通じた関係人口の増加を図る。
事業概要	<p>インフルエンサーを活用したマスコミ、SNS等を利用したPR活動（情報ライター発信事業）を強化し、本町で開催される全国藩校サミットに先駆けて「お殿様料理」を作成して宣伝活動を活性化させるとともに、同サミットでのお殿様料理等の提供及びPRを実施した。</p> <p>来年度以降においては、本年度より開始される「お殿様土産（城下町壬生を感じさせる、本町にて生産又は製造された商品）」や「お殿様料理（お殿様料理よりも気軽に食せる価格帯で、女性をターゲットとしたボリュームやビジュアルに拘った料理）」とも連携した対外PR活動を充実させるとともに、取り扱い店舗の拡充やお殿様料理の冷凍加工等による通販、ふるさと納税返戻品として全国配送等を検討予定である。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> ・生産から開発、販売、PRを一体的に進める農業の6次産業化を推進し、壬生町ブランドの認知度向上を図ります。 ・KPI：地域ブランド品目認定数 現状31件（H30） → 目標40件（R7）

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

（単位：円）

	R3年度	R4年度	R5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成 ・お殿様料理作成事業 ・情報発信ライター事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成 ・PRイベントの開催 ・情報発信ライター事業 ・通販等の計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成 ・PRイベントの開催 ・情報発信ライター事業 ・通販等の計画 		<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成 ・PRイベントの開催 ・情報発信ライター事業 ・通販等の実施
事業費	533,921	501,000	501,000	1,535,921	501,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	500,000	500,000	1,500,000	500,000
うち県交付金	250,000	250,000	250,000	750,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	33,921	1,000	1,000	35,921	1,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課	
担当者名	武田	
連絡先	電話	0282-81-1844
	FAX	0282-82-1107
	E-mail	keizai@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生お殿様料理促進事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	500,000	内、250千円は県補助金
負担金	33,920	・全国藩校サミット壬生大会実行委員会負担金 29,920 ・旧家で有機綿撮影会参加者負担金 4,000
雑入	1	預金利息
計	533,921	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	175,587	175,587	87,793	0	お殿様料理等認定式におけるお殿様土産代等、のぼり旗作成費
印刷製本費	276,980	276,980	138,490	0	パンフレット作成費
委託料	40,780	6,859	3,430	33,921	お殿様料理販促イベント開催経費 「旧家で結城綿撮影会開催」 ・着物を着て写真撮影 ・お殿様料理食事 全国藩校サミット関連経費 「お殿様料理促進の会加盟7店舗合作による「お殿様弁当」を「お殿様」等へ献上」 ・オリジナル御献立帳、掛け紙作成経費
食糧費	40,574	40,574	20,287	0	情報発信ライター事業 ・女性の報道記者、新聞記者によるお殿様料理試食、改善検討会開催経費
計	533,921	500,000	250,000	33,921	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節（需用費、役務費は細節）の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業調査）

【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	みぶの日開催事業【中止】
事業主体の名称	みぶの日実行委員会
代表者の名称	会長 櫻井 康雄
事業主体の所在	栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的：毎年3月2日「32（みぶ）の日」を中心に壬生町の魅力を発信するためのイベントを開催する ・設立年月日：平成27年12月 ・構成員等：社会福祉協議会、自治会連合会、商工会、JAしもつけ壬生地区営農経済センターなど
当該事業に係る地域の現状と課題	本町は伝統芸能や優れた食文化等の地域資源を有しているが、認知度不足、担い手の高齢化などの問題を抱えており、有効に活用しきれていない状況が続いていることから、毎年3月2日「32（みぶ）の日」を位置づけて、その魅力を再認識するとともに、町内外に発信することが求められている。
事業目的	「みぶの日フェア」を開催することにより、町民の交流促進や地域資源の掘り起こしを図るとともに、町外や県外に向けて、壬生町の魅力を発信し、壬生町を訪れた方に「ちょっと関わりたいまち・みぶ」として定着を目指すことで、北関東周辺の関係人口の増加及び町の活性化に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>事業名称：みぶの日フェア 開催日：令和4年3月6日（日） 開催場所：みぶハイウェイパークみらい館（道の駅みぶ）</p> <p>①各種ステージイベント：壬生町出身アーティスト等によるステージ、壬生町の伝統芸能のステージ演奏 ②町特産品を活用した料理の提供：特産「かんびょう」を使ったカミナリ汁、特産「みぶ菜」を使ったオリジナル料理など ③町特産品の販売：特産物（いちご・トマト等）の販売、みぶブランド認定品の紹介・販売、おもちゃ関連の展示・販売など ④町の歴史・文化の紹介：壬生町の歴史・文化財紹介など ⑤体験コーナー：かんびょうボウリング、缶バッチづくりなど ⑥北関東隣県と連携した特産品の販売：群馬県の山城焼き、焼きまんじゅう、茨城県の自然着だんご、ジャンボつくねの提供など ⑦観光ロゲイニング大会とタイアップした町のPR活動など （新規の取り組み）：⑧持続可能な社会の実現に向けた、町内企業のPR活動の場の提供など</p> <p>来年度以降においても、「みぶの日フェア」を開催することにより、町民の交流促進や地域資源の掘り起こしを図るとともに、町外や県外に向けて、壬生町の魅力を発信していく。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	第2期壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光客入込数 3,709,996人（H30）→5%増加（R7） 【R1実績 3,584,481人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町及び北関東特産品の展示・販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー ⑥北関東隣県と連携した特産品の販売 ⑦観光ロゲイニングとのタイアップ ⑧SDG sの推進に向けた町内企業のPR 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町及び北関東特産品の展示・販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー ⑥北関東隣県と連携した特産品の販売 ⑦観光ロゲイニングとのタイアップ ⑧SDG sの推進に向けた町内企業のPR	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町及び北関東特産品の展示・販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー ⑥北関東隣県と連携した特産品の販売 ⑦観光ロゲイニングとのタイアップ ⑧SDG sの推進に向けた町内企業のPR		
事業費	0	600,000	600,000	1,200,000	600,000
市町支出金 （ソフト事業分）	0	600,000	600,000	1,200,000	600,000
うち県交付金	0	300,000	300,000	600,000	
市町支出金 （ハード事業分）				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課（グループ・係）名	総合政策課	
担当者名	黒澤 俊広	
連絡先	電話	0282-81-1813
	FAX	0282-82-8262
	E-mail	sougo@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	みぶの日開催事業【中止】	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	0	町補助金
計	0	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支支出額		自主財源等	
		県交付金			
委託費	0	0	0	0	会場設営（@300,000円）- ステージ運営（@80,000円）- 駐車場整理（@10,000円×5名）- 出演料（@30,000円×3組）-
報償費	0	0	0	0	出演料（@30,000円×3組）-
印刷製本費	0	0	0	0	ポスター（@600円×30枚）- チラシ（@45円×300枚）-
消耗品費	0	0	0	0	事務用消耗品
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	0	0	0	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節（需用費、役務費は細節）の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業調査）

【単独事業】

市 町 名	壬生町
事 業 名	国際観光推進事業
事業主体の名称	壬生町国際観光推進協議会
代表者の名称	会長 小菅 一弥
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的：インバウンド観光への各種対応を官民一体的に展開し、本町国際観光の推進を図る。 ・設立年月日：令和2年3月18日 ・構成員等：観光協会長、商工会長、おもちゃ博物館長、ホスピタルイン獨協医科大学支配人、東武鉄道(株)駅長等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本町ではインバウンド観光への対応として、観光パンフレット及び観光協会HPの多言語対応や多言語化表記看板の設置等の基盤整備、単発的な観光PRイベント等は行ってきたが、継続可能で魅力的な商品としての観光ツアーの開発がほとんど進んでいない。（行政による基盤整備は進めども、民間によるツアー商品等の開発・提供は進んでいない。※ツアー商品等 → モニタリングツアーを通じて、カフェにおける取扱い食品、駅からの移動手段としての観光自転車、各種パンフレット（メニュー表など含め）などの各種コンテンツの磨き上げを想定しております。）</p>
事業目的	<p>本物の出会い栃木DCで養った観光経験をDCレガシーとして、イバウンド観光への対応と多言語化対応によるおもてなしの向上を官民一体となって展開し、本町国際観光を推進する。</p>
事業概要	<p>・昨年度までは行政上の基盤整備（観光パンフレット、観光協会HP、看板等の多言語化の実施）を行ってきたが、本年度からは新規の取り組みとして「民間によるツアー商品等の開発支援」に事業をシフトし、官民一体となった持続可能な国際観光を推進した。</p> <p>具体的な商品開発の一つとして、在留外国人を対象とした「藍染体験モニタリングツアー」を、本町内で藍栽培→染めあげまで実施している民間企業とともに開催し、ツアー後、参加者を対象にワーキングを行い、商品化に向けた問題点の抽出等を行った。</p> <p>【藍染体験モニタリングツアー等の概要】</p> <p>R3.11.9（火）開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催 壬生町国際観光交流推進協議会 ・参加者募集、ワーキング運営についてはジャパン・ワールド・リンク㈱へ委託 ・当日の流れは下記のとおり <p>A 藍染め場（壬生町大字下福薬）に集合</p> <p>B オリエンテーリング</p> <p>全体説明の後、染め物の材料としてハンカチを配布し、染め方3種（板染め、絞り染め、かご染め）から選択</p> <p>C 藍染め</p> <p>10分染め、10分干しを5回繰り返す。それぞれの10分間において藍の歴史等の説明、藍の液肥を利用して栽培したマンゴー畑の視察、藍染商品の紹介等実施</p> <p>D 藍染め商品等販売会</p> <p>手ぬぐい、箸入れ、シャツ、漢方と藍草で育てた藍卵、藍卵を使った藍SEEDプリン（壬生町お姫様土産認定品）を販売</p> <p>E 食事</p> <p>藍染め場の運営会社が経営するカフェにて食事（モニタリングツアーのため食費は運営会社負担）</p> <p>F ワーキング</p> <p>ジャパン・ワールド・リンク㈱（とちぎ未来大使の宮地アングス氏が代表）のコーディネートにより、参加外国人（5、6名）とツアー内容を約2時間ディスカッション</p> <p>ツアーの商品化及び本町国際観光の推進に向けて、反省点、良い点を抽出し、今後の活動に活かすこととした。</p> <p>・本町において最も集客が見込め、県内各地からの交通結節点であるみぶハイウェーパーク（壬生PA隣接）を、国際観光の拠点として活用するために多言語化表記看板の設置を行った。</p> <p>・R4、5年度においては、外国人観光客に嗜好される体験型モニタリングツアーとして、かんびょう作り（収穫→剥き→干し）、太鼓教室（壬生ブランド認定品活用）などについて、古民家でのお生お殿様・お姫様料理提供等との組み合わせによるツアーを検討している。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドに対応した観光振興を図ります。 ・KPI：みぶハイウェーパーク来訪者数 現状（R元）2,117,509人 → 目標（R7）2,500,000人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R3年度	R4年度	R5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ツアー開発事業 ・多言語化表記看板設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ツアー開発事業 ・PRイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ツアー支援事業 ・PRイベントの実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・観光ツアー支援事業 ・PRイベントの実施
事業費	751,180	751,000	751,000	2,253,180	501,000
市町支出金 (ソフト事業分)	750,000	750,000	750,000	2,250,000	500,000
うち県交付金	375,000	375,000	375,000	1,125,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,180	1,000	1,000	3,180	1,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課	
担当者名	武田	
連絡先	電話	0282-81-1844
	FAX	0282-81-1107
	E-mail	keizai@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	国際観光推進事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	750,000	内、375千円は県補助金
雑入	0	
会負担金	1,180	
計	751,180	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
委託料	583,980	582,800	291,400	1,180	・藍染体験モニタリングツアー開催経費 414,580円 ・多言語化表記看板設置委託 169,400円
消耗品費	0	0	0	0	
印刷製本費	167,200	167,200	83,600	0	・多言語化観光パンフレット作成費
計	751,180	750,000	375,000	1,180	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節（需用費、役務費は細節）の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合